



会員さんへインタビュー

vol.4

会員さんいらっしゃ～い!



中央区 エバーグリーン寿会 吉田 晃さん
音楽は人生を彩る

吉田さんは現在89歳。大空襲を3回も経験しており、終戦を迎えたのは11歳の時でした。家の前が麦畑で、爆風ですべて飛んでしまい次の日に百姓の方が唾然と畑を見ていた光景を今でも鮮明に覚えているそうです。

そんな吉田さんの音楽人生。はじめて楽器にふれたのは3歳の時で、叔父さんからもらったアコーディオンだったそうです。この楽器が音楽人生の原点となり、中学生時代にはクラリネット、成人後も西宮交響楽団に所属していましたが、就職し営業部に配属になってからは忙しくなり、一度は音楽から離れ以来50年が経過。定年後に周りからの勧めで老人クラブに入会し「また音楽を始めたい!」「皆さんに披露したい!」「聴いてもらいたい!」との思いから音楽教室にも通い始め今にいたります。

ジャンルはクラシックやジャズが主でしたが、最近は演歌が多いとのこと。練習の成果は、老人クラブの定例会後の交流会で演歌の曲をサククスで伴奏し披露しています。サククスの音色にあわせ会員の皆さんの自慢の歌声が会場に響きわたる楽しいひとときを過ごしているそうです。

また、童謡歌唱の会にも参加し、得意なパソコンスキルを生かして楽譜のアレンジもしています。その数なんと500曲。その他「ひよこクラブ」という楽団を立ち上げリーダーとして会員の皆さんを引っ張るなど、まさに音楽一色の人生です。

最後に吉田さんに若さの秘訣をたずねると「探究心とやり切る力」とのこと。最後まで諦めずに物事に取り組むための様々な方法を考え、試すことが良い刺激となっているそうです。また食事でも毎日3食しっかり食べ、腹八分目を意識し、好きな音楽を聴いてストレス発散。このサイクルがいきいき輝く元気の秘密だと分かりました。



北区 桂木ひふみ会 吉岡 安子さん
私を救った運命的な作品

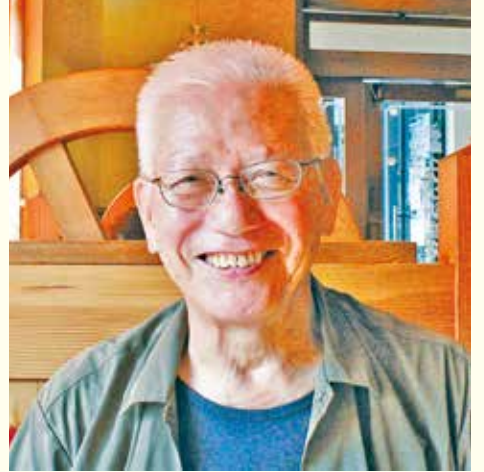
吉岡さんは70代に差しかかる頃、人に勧められたわけではなく、桂木ひふみ会の雰囲気と会長の人柄に強くひかれ、自ら入会しました。

入会前は70代に入るまで子育てに専念し、子ども中心の生活でした。あわせて長年趣味で絵を描いており、日本南画院に所属し展覧会を開催するなど、絵の活動を積極的に行っていました。しかし、強度のうつ病を患い、6~7年間は絵を描けない日々が続きました。創作意欲を失い、当時は絵に関する道具や画材を見るのさえ辛くなり、捨てたくなることもあったそうですが、結果それを捨てなかったことが、今の吉岡さんにとって大きな心の支えとなりました。

絵を描くことを辞めた後、何か新しいことを始めようと詩吟教室に通うなど挑戦をしていたある日、新聞で紹介されていた個展の記事が目止まり、その作品をどうしても見たいという強い気持ちにかられ、実際に足を運び鑑賞しました。その作品を見た瞬間、今までにない感動を味わうとともに、再び絵を描く意欲が湧きおこったそうです。現在は、そんな運命的な作品を作った方より指導を受けながら絵の勉強を続けています。

過去に苦しんだ時期があったからこそ、今の吉岡さんは毎日をより楽しく充実した気持ちで生きることができていると力強く語ってくれました。

今は、上手に絵を描こうとせず、自分の心で感じたありのままの感情を表現したいと思っています。これからも創作活動を通して多くの方の心を動かし、パワーを与え続けてください。



長田区 長楽すみれ会 荒川 博之さん
誰もが楽しめる活動を追求

長田区老連の長楽すみれ会の会長である荒川さんは今年で82歳を迎え、最近では不整脈により3度倒れた経験があるとのことですが、そのようなことをまったく感じさせないほど若々しく大変お元気そうです。趣味は雅楽で、以前はご自身で竜笛の奏者もしていたご経験もあるそうです。

老人クラブには65歳になってすぐに奥様と一緒に入会されました。そして前会長からの推薦もあり、今から5年前に副会長に就任、令和4年には前会長から引き継いで長楽すみれ会の会長職を務めています。

会員の減少が大きな問題となっている中で、荒川さんは少しでも会員の皆さんに楽しんでもらうきっかけを提供するため、月3回落語会を開催しています。また時には外部のマジシャンを呼びマジックショーを行うなど趣向を凝らし様々なイベントを実施しています。そのおかげで以前は会員が39名でしたが、現在は54名にまで増加することに成功。日々荒川さんが皆さんを笑顔にしたいと尽力しながら楽しく魅力的な活動を展開していることが老人クラブの活性化に確実に繋がっています。

老人クラブ活性化には、会員だけでなく、外部も含めて、いろいろな方の協力を得ながら活動することが大事とのこと。「自分だけが楽しむのだけでなく、どんな方でも一緒に楽しむことができる雰囲気づくりと活動をこれからも目指していきたい」と笑顔で意気込みを語っていただきました。これからも新たなことに挑戦し続けるチャレンジ精神を大切に、老人クラブの活動をとおして健康長寿を実現してってください。

あとがき

健康長寿のためには「健康脳」が必要不可欠だそうです。「健康脳」とは、脳の血流がよく、代謝が非常に高い状態にあり、活発に動いていることをいいます。そのためワクワクする知的好奇心を常にもつことが大切です。これは難しいことではなく「好きなことをする」「趣味を持つ」ことで大丈夫。今回の「会員さんいらっしゃ～い!」でも皆さんが好きなことに熱中する姿をご紹介させていただきました。ぜひ人生100年時代を楽しみましょう。

たくさんのご投稿をお待ちしております。

掲載月	投稿募集期間
11月号	9月16日
9月号	7月16日
7月号	5月16日
5月号	3月16日
3月号	1月16日
1月号	9月15日

締切は発行月の前々月15日必着です。詳しくは左記の通りです。

◆募集期間

※〇〇は俳句・短歌・川柳入な(55)等

〒650-0016
神戸市中央区橋通3丁目4-1
KOBESHINIAクラブ事務局
「広報紙〇〇係」
FAX 341-80524

◆投稿募集

文芸欄への投稿をお待ちしています。皆さまの作品をお寄せください。

作品、住所、電話番号、単位クラブ名、お名前を必ずご記入ください。